

内閣総理大臣賞・農林水産大臣賞

農事組合法人 農村資源開発共同体（福井県池田町）

～山の恵のお裾分け コムニタに集って語って挑んで～

◆背景

当法人のある福井県池田町は、福井県南東部に位置し、四方を山に囲まれた急峻な地形で、特別豪雪地帯にも指定されている。若年層の流出と農業の担い手不足を契機に、昭和59年に法人の前身となる「池田町農協青年部」が結成され、農業を軸とした地域おこし活動が開始された。その後、本格的に取り組むために平成6年に「農事組合法人農村資源開発共同体」（通称：コムニタ）を設立し、平成8年には念願の活動拠点施設「ファームハウス・コムニタ」にて、農業生産に加えて体験・飲食・宿泊事業を開始した。

農事組合法人農村資源開発共同体



◆取組概要

① 農業生産面

設立当初から農薬を通常よりも80%削減した減農薬、化学肥料を使用しない農法で米を生産し続け、平成12年から「ゆうきげんき正直農業」、平成18年から「生命に優しい米づくり」を先導した。また、令和7年からは、さらなる品質の向上を目的とした「未来へ耕す池田米」にも取り組み、池田町の環境保全型農業の推進に寄与している。さらに、池田町産米を使用したお粥のレトルト、丸餅、かき餅、米粉100%パンの他、豆乳スコーンやブランドトマトを利用したハッシュドビーフなど地元農産物を活用した加工品開発を行っている。さらに町産木材を活用したキッチンカーを製作し、コムニタの米粉100%の米粉パンに池田町の産品を挟んだパニーニ風ホットサンドを販売するなど、地元農産物の普及やブランド化に貢献している。

② 生活・環境整備面

ファームハウス・コムニタは、池田町の良さを伝える交流拠点として宿泊や体験事業を展開し、町外の利用者に池田町の郷土料理を食事や体験として提供したり、農業体験、自然体験などを行い、食文化の伝承や農村生活への理解を促進するとともに、池田町民の交流の場にもなっている。宿泊・体験事業により池田町の関係人口創出に貢献し、また、コロナ禍を契機にワーケーションの取組を開始し、移住希望者などの短期滞在の拠点にもなっている。コムニタのメンバーは農村観光協会の役員や各地域のリーダーを担うなど、町全体の支援・土台作りに貢献している。

◆写真で見る団体の取組



活動拠点施設「ファームハウス・コムニタ」



減農薬無化学肥料による米づくり



パニーニ風ホットサンド



キッチンカーの出店



野菜の収穫体験



郷土料理の提供